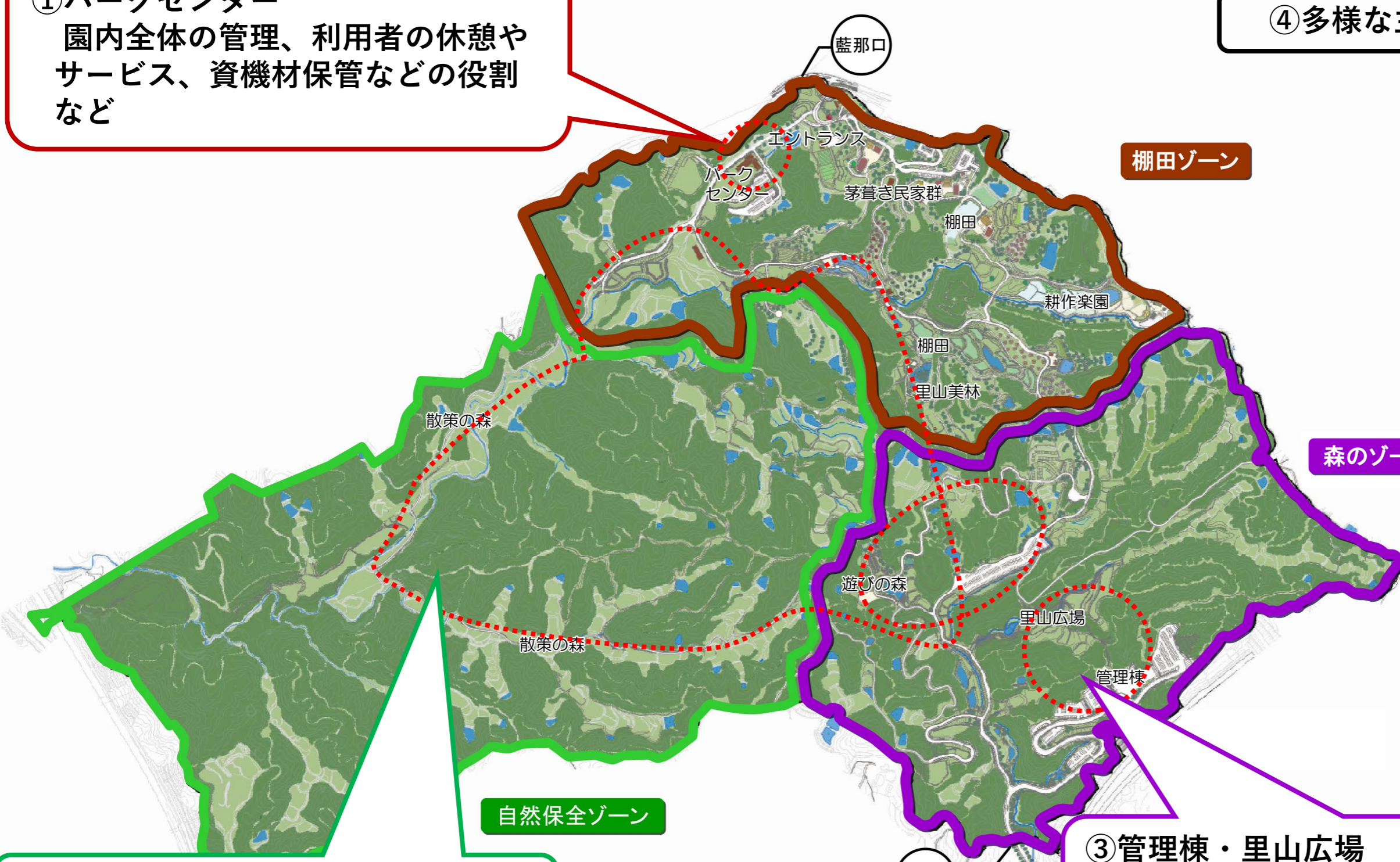


今後の整備の方向性

①パークセンター

園内全体の管理、利用者の休憩やサービス、資機材保管などの役割など

④多様な主体との連携



棚田ゾーン

森のゾーン

自然保全ゾーン

②自然保全ゾーン

園内を周回するトレイルを整備

③管理棟・里山広場

森のゾーンを中心とした管理機能と、アウトドア利用に必要な設備等を導入

①パークセンターのイメージ

○パークセンターにおいて、園内全体の管理機能に加え、学校団体等まで対応可能な休憩や、利用者サービス、倉庫機能を盛り込むことを想定。（茅の保管庫は、茅生育地に寄り近い箇所で検討。）

（参考事例）岐阜県 森林総合教育センター（モリノス）



出典 モリノス
<https://morinos.net/what-we-have>
ほか



刈取後の茅の保管



教育機関に森の体験を提供し続け、森を活用できる森の指導者を育成するmorinos



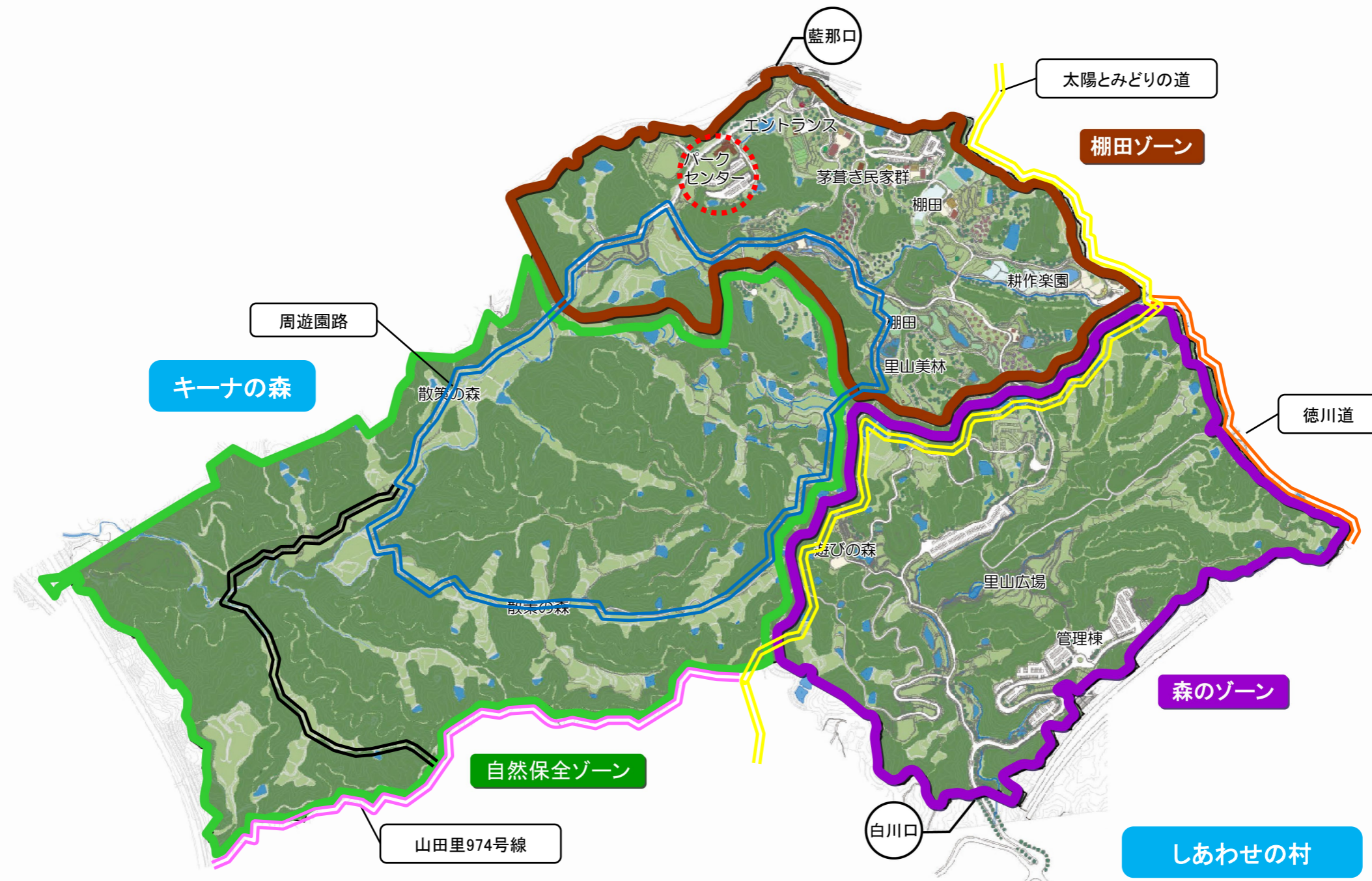
森につながる冒険遊び場である「morinosひろば」



休憩施設にもなり得る森の情報センター

②自然保全ゾーン 整備・保全イメージ

- 自然保全ゾーンを主な対象として整備を行う園路には、ガイドによる案内など、学習・体験の機能を盛り込むことを想定
- 更に、神戸市認定の「太陽とみどりの道」との連携によるハイカーの呼び込みを模索
- 隣接する神戸市施設との連携について、利用の他、防災関係でも連携を図ることとする



②自然保全ゾーン 整備・保全関係

○獣害対策（シカ食害による影響把握）状況

○平成26年度より、自然保全ゾーン等で以下の調査を実施

- 1) 高木、亜低木、低木、草本ごとの出現種と被度
- 2) コドラートにおいて、低木を対象とした枝張や樹高等



防護網区

シカが侵入できないよう、コドラートの周りを囲う

対照区

5m×5mの枠のみを設けたもの

【調査結果と今後の対応】

- ・シカの食害があるならば、防護網区と対照区に差異が生じるはずであるが、出現種と被度について大きな差は確認されていない
- ・低木層の被度について、令和2年度以前には、ばらつきがあったものの、以降、対照区、防護網区とも増加傾向
- ・引き続き、状況の把握に努める

(参考) OECM(Other Effective area-based Conservation Measures)

- 2018年のCOP14で、「保護地域以外の地理的に確定された地域で、付随する生態系の機能とサービス、適切な場合、文化的・精神的・社会経済的・その他地域関連の価値とともに、生物多様性の域内保全にとって肯定的な長期の成果を継続する方法で統治・管理されているもの」と定義された
- 2030年までに陸と海の30%以上を保全する目標（30by30目標）のカギとされている。

日本におけるOECMの考え方

国土全体	
生物多様性の長期的な域内保全に貢献する地域	貢献しない地域
生物多様性保全が主目的	生物多様性保全が主目的でない
保護地域	OECM

※四角の大きさは割合を表さない

- 保護地域以外にも、里地里山、水源の森、都市の自然など、様々な場所が生物多様性の保全に貢献。
- 人びとの生業や民間の自発的な取組によって自然が守られている地域もOECMになり得る。

③森のゾーン(管理棟、里山広場等)における展開～プログラムの試行～

○里山広場等における官民連携事業導入に向けた、マーケットサウンディング（R4）において、現状、里山広場等での官民連携手法の導入は難しい（事業者の参入意欲は高くない）状況を確認

○将来的な官民連携手法の導入を見据え、本公園の運営維持管理を行う神戸地区管理センターを主体に、当面試行的な利活用を検討

●「基本計画（変更案）」－施設及び施設配置計画における『里山広場』に係る記載内容

- ・ 地域をはじめとした多様な主体と連携し、里地里山を活かした活動を行う空間とする。隣接する管理棟も活用しながら、民間活力の導入によりアウトドア利用の提供を行うことを目指す。

- ・ 当面、『ここで泊まることで今までの開園時間内にできなかったことが体験できること』を目的に、これまでの管理センターの取り組みを活かした宿泊体験を実施
- ・ その際、「安全管理の確認」「集客性・収益性の確認」などの観点の確認や、効果検証を行い、今後の利活用を継続的に検討



早朝の探鳥会



天体観測



ライトトラップ

④多様な主体との連携による里地里山の景観の継承

○関係機関との中長期に渡る連携体制構築ができるよう、包括連携協定の締結を行うなどの方法で、園内の学習等の一層の促進が成されるよう、取り組む

(例)

■兵庫県立人と自然の博物館

豊かな学び、体験の提供

例) 多様性のある人材育成に向けた
セミナー等の実施

■淡路景観園芸学校

自然環境の保全活用

例) 当公園をフィールドとした研究活動の推進
関連イベントへのご協力

関係機関との間では、双方のネットワークを活用した情報発信を推進

※上記機関に限らず、課題や連携内容に応じた対応を検討

●「基本計画（変更案）」－利活用計画

多様な主体や周辺地域との連携により里地里山における環境維持活動の推進、農に関わる地域文化等の継承を図る。